

認定NPO法人  
**TSUBASA**

「人・鳥・社会の幸せのために」

[www.tsubasa.ne.jp](http://www.tsubasa.ne.jp)

とり村回覧板 特別号

# なるほど！ バードライフの 知っておきたい 10のポイント

鳥さんの飼育に満点はありません。

この季刊誌に載っているのは

鳥と暮らす上で必要な、ほんの一握りの情報です。

ぜひ、色々な飼育書を読んだり、

セミナーにも参加してみてくださいね。

そして、定期的な健康診断に行き

愛鳥さんと末永いバードライフを

お過ごしてください。

**TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念にレスキュー活動をする団体です。**

認定NPO法人TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対して、より良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り（里子制度）、新しい飼い主さんを探す（里親制度）活動を行っており、啓発活動の一つとして、インコ、オウムの最新情報やイベント情報などを掲載する無料季刊誌「とり村回覧板」の制作もしております。

今回は、いつもお届けしている「よりよい飼い方」の情報発信ではなく、「基本の飼い方」を特別版でお届けします。

鳥たちと暮らしていく上で押さえておきたい健康を守るためのポイントをまとめましたので、皆さまのお近くに、鳥さんの飼育について勉強したい方がいらっしゃいましたら、ぜひこの回覧板を渡してあげてください。

たくさんの方に回覧していただけたら嬉しいです！そして、この季刊誌が多くの方にとって、愛鳥さんとの暮らしを考えるきっかけになれば幸いです。

# 食事で目指す! 健康バードライフ!

## 本来、鳥ってなにを食べてるの?

鳥の食事を考えるときに大事なことは、まず、その鳥が野生ではどんな食生活を送っているのかを知ることです。鳥は種類によって、それぞれ違った食性を持っています。これらはおおまかな分類ですが、鳥によってはあらゆるものを食べるなど、どれか一つの食性のみとは限りません。偏ることなく、いろいろなものをバランスよく与えるようにしましょう。

### 穀食性



果物が実っていない環境で暮らしているので  
種子類が主食

そのため消化管が糖の消化に慣れておらず、糖分に増殖する菌への抵抗力が弱く、甘いものをあげすぎると体調を崩す可能性がある。加熱した炭水化物も糖を多く含むため注意が必要。

例) セキセイインコ、オカメインコ、ラブバード、など

### 果食性



主に果実が豊富な森林地帯に住む鳥で  
果物や種実類が主食

穀食性の鳥とは違い、加熱した炭水化物を与えても消化する力がある。甘いものに慣れていないとはいえ、多く与えすぎてしまうとおなかを壊す可能性があるので適量与えるようにする。

例) コンゴウインコ、ボウシインコ、ヨウムなど

### 蜜食性



花粉や花蜜が主食

この種類は鉄分を体内に蓄積しやすい性質を持っているため、鉄分の吸収を助ける働きのあるフルーツや野菜(イチゴや柑橘類、チンゲン菜など)はたくさん与えない方が良くとされている。また、ローリー用のフードを与える。

例) ゴシキセイガイインコ、ヒインコ類など



※ただし、食べるものがない時などには昆虫を食べることもあるそうです。特に、クサインコ、キバタン、文鳥などは野生下では昆虫を食事の一部として取り入れていると言われています。

## シード(穀物の種子)の話

アワ、キビ、ヒエ、などの種子類のことをシードと呼びます。種子混合食(アワ、ヒエ、キビなどを中心にブレンドされたもの)には、良質なたんぱく質が含まれますがビタミンやミネラルはほとんど含まれず、栄養が偏りやすく、与えすぎると肥満になりやすいので注意が必要です。シードには殻付き(殻付き餌)と、殻むき(むき餌)の二つの種類があります。

### 殻付き餌

殻つきは蒔けば芽が出てくる生きた餌で、栄養価が高く、殻をむくことが鳥のストレス解消にもなり、また、腐敗しにくい。



### むき餌

蒔いても芽が出てこない死んだ餌で、殻つきと比べると栄養価が低く、腐敗しやすい。ただし、自ら殻がむけない子や消化機能に難がある子などの場合にはむき餌が推奨されます。

### シードの種類(小型鳥での一例)とTSUBASAでの使用例



## ペレット(総合栄養食)の話

ペレットとは、犬でいうドッグフードのようなもので、穀物や種子を原材料とし、固形状に作られているものです。ビタミンや必須アミノ酸などの体内では形成できないが、生育には必要な栄養素を効率よく取れる鳥の総合栄養食のことです。

人工飼料なので、シードと比べると色も形も単調なものが多く、鳥の食の楽しみを考えると、必ずしも良い餌とはいえない側面もあります。とはいえ、シードでは補えない栄養素がバランス良く配合されているので、鳥の健康を考えるなら、食べさせてあげたい餌です。しかしメーカーや種類によって色や形、栄養素などに違いがあるので注意も必要です。鳥さんの好みによっても食いつきに違いが出ます。また、ペレットは輸入中心で在庫が不安定なので、なるべく様々な種類やメーカーのペレットを食べられると安心です。



TSUBASAで使用しているペレットの一例(小粒/中粒/大粒)

	メリット	デメリット
<b>ペレット</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要な栄養素がバランス良く摂取できる</li> <li>● 消化が良い</li> <li>● 食欲がない時にシードに戻すことで食欲回復を期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史が浅く、データが少ない</li> <li>● 嗜好性が悪い(食いつきが悪い)</li> <li>● 輸入中心で在庫が不安定</li> <li>● 食生活が単調になる</li> </ul>
<b>シード</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嗜好性が高い(食いつが良い)</li> <li>● 食べる楽しさがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 偏食の危険性がある</li> <li>● 脂肪分が高く肥満になりやすい</li> <li>● 栄養が偏るので不足のビタミンやアミノ酸などを副食として用意する必要がある</li> <li>● 農業や化学肥料などの汚染の危険性がある</li> </ul>

## シードからペレットへの切り替え方法

「おいしい」シードから「体にいい」ペレットに切り替えるには少しコツがあります。よろしければ参考にしてみてください。

目指せ!  
ペレット中心の  
生活!!

- 1 平均採食量を出す**  
 切り替えを始める前に、一日の採食量を一週間測り、平均採食量を出します。同時にシードの横に固形のペレットを別のお皿に入れて見慣れさせておきましょう。
- 2 ペレットは粉にして味に慣らす**  
 平均採食量が出たら、平均採食量から時間をかけて少しずつシードを減らしていき、減らした量だけペレットを増やしていきます。この際、自然と口に入り、ペレットの味に慣れてもらうために『粉』にします。毎日、体重の増減を確認しながらシードを減らしていきます。  
 ※体重が維持できず、減ってきてしまう場合は中止。
- 3 固形に切り替える準備をする**  
 ペレットの粉にだんだんと慣れてきたら、固形に切り替える準備もしておきましょう。体重が維持できていれば、粉状にしていた粒を少しずつ大きくしていきます。  
 ※サイズや形は鳥の好みに合ったものを見つけましょう。
- 4 体重が維持できていれば完了**  
 シードを無くしても、体重が維持できていれば切り替え完了!  
 ※ペレットが主食になったら、おやつ程度にシード等を与えても良いが、切り替わってすぐに与えたり、量をあげすぎると逆戻りする可能性があるので注意が必要です。



### 切り替えの際に注意すること

- 1 健康であること
- 2 平均体重を知っておくこと
- 3 いつもの便の量や状態を把握しておくこと
- 4 体重の変動に注意すること
- 5 飼い主の方は、長期にわたる努力と忍耐が必要

シードやペレットなど様々なものを食べられることによって、食生活が豊かになり、「食べる楽しみ」が増えます。また、バランスの良い食事することによって鳥が健康な生活を送ることができるので、ぜひ挑戦してみてください。ですが、普段から食べているシードをペレットに切り替えることは、とても大変なことです。鳥さんの体調に気をくばりながら、無理せずゆっくりと頑張りましょう!

## 野菜、果物の話

鳥の副食として良いと言われている緑黄色野菜。ビタミンAを多く含み、その他カルシウムなどのミネラルも多く含まれています。しかし、好きだからといって与えすぎると栄養バランスが崩れてしまうのでペレットなどとバランスよく与えることが大事です。果物類は糖分が多いため、大型の鳥には副食として少量を、小型の鳥には糖分が多すぎるので、たまに一口与える程度に。

### 与えていい食べ物(例)



### 絶対に与えてはいけない食物など(例)



鳥は、人間よりも小さい生き物なので体に害のあるものをほんの少し摂取しただけでも命を落とす可能性があります。

食べてはいけないものはしっかりと飼い主さんが把握しておき、心配な場合は、与える前に専門医などに相談しましょう。

## 体重測定をやってみよう!

### 体重測定は、愛鳥さんの健康を管理する第一歩

鳥は全身が羽毛で覆われているため、太っているのか痩せているのか、はたまた丁度よいのか見た目ではわかりにくいことが多いのですが、体重は数字で表れますので、変化があればすぐに気付くことができます。病気の早期発見にも繋がりますので、日頃から定期的に愛鳥さんの体重を測って、その子の普段の体重を記録しておくことをオススメします(元気な鳥でも週に1回以上)。測定方法はいろいろありますが、愛鳥さんに合ったやり方を見つけましょう!

鳥種	平均体重	鳥種	平均体重
文鳥	22-25g	コザクラインコ	45-55g
セキセイインコ	30-35g	オカメインコ	80-90g

### 注意! 平均体重 = 適正体重ではありません!

適正体重は骨格によって決まるため、同じ鳥種でも個々で異なります。適正体重は、かかりつけの獣医さんに骨格を診てもらって相談して決めてくださいね。



### パーチなどで測定

パーチに鳥さんを乗せて、そのまま体重計に乗せます。パーチがない場合はキャリーや他の物でもとにかく鳥さんが乗れば大丈夫です。乗っている間はオヤツをあげると測りやすく、鳥さんに嫌な印象を与えません。

### 直接体重計に乗せる

体重計にご飯やオヤツを置き、鳥さんに直接体重計に乗ってもらいます。

食いしん坊さんはこの方法がやりやすいかもしれません。鳥さんに自分で乗ってもらう方法なので、同じく鳥さんに嫌な印象を与えません。



### キャリーやプラケに入れて測定

ケージの中で鳥さんを捕まえて、そのままキャリーやプラケに入れて測定。

手乗りではない鳥さんやパーチや体重計に乗れない場合はこの方法が確実です。ですが捕まえられるのが嫌いな鳥さんには負担となり、飼い主さんと関係が悪くなる可能性があります。TSUBASAでは鳥を捕まえる時には必ずタオルを使い、時には服装を変えて別人になりすまし鳥に嫌われないよう工夫しています。

# 便は、健康を表すバロメーター！

## 鳥は病気を隠しても、便は正直

体調の問題は、便の状態に現れることがあります。普段出しているものと色や形状が違う便が出ている場合、体内で異変があるのかもしれませんが。そのため、「便は健康状態を表すバロメーター」と言えます。見た目では体調の判断が難しい鳥だからこそ、異常な便があるかどうか判断する観察力が必要となります。

鳥はよく「病気を隠す動物」と言われています。

群れの仲間に弱った姿を見せると、見放されてしまうという本能から、体調が悪くても、元気なふりをすることが良くあります。つい先ほどまでは元気そうに見えたのに、突然亡くなってしまう…なんてことも珍しくありません。ただし、鳥によって正常な便の状態は様々です。愛鳥の普段の便をしっかり把握しておき、いつもと違う便が出たときに気づけるよう、記録を取るなどして把握することが重要です。

### CHECK! 小型鳥・大型鳥の正常便



### CHECK!

#### 見るべきポイント!

時期や体調の変化により変動するため、定期的に写真に残すなど、変化がわかるように記録を付けましょう。

### 色

通常は黄褐色～深緑色。食べ物によって左右されることも。

### 形

通常は管状で巻かれています。形の有無もチェック。

### 大きさ

小型鳥の場合は3～10mm程  
大型鳥は10mm～20mm程。  
発情(産卵)や消化不良により、大きくなる場合があります。

### 尿酸

尿酸は便の周りを覆う状態で通常は水分ではなく、固形として排泄されます。色は通常は白色。小型の鳥は尿の滲みはほとんどないのが正常。大型の鳥の場合は尿のにじみがある場合もあります。

### 匂い

通常の便は無臭。匂いがある場合腸内細菌のバランスが崩れていることが考えられます。また、メスの鳥は発情時に便を体内に貯める傾向があるため、匂いが発生することがあります。

### 量・場所

便の量や落ちている場所は、採食量の上昇や低下、体調不良による動きの低下により左右されます。

### 異物

異物が混じっていないか確認。止まり木や新聞紙を食べることで、便に混じって排出されることがあります。

### CHECK! 様々な異常な便

左:尿酸が固形ではなく水分として出ている。  
右:多尿便と比べ便に含まれた水分が多く形が崩れかかっている。



#### 多尿(左)・軟便(右)

尿のにじみが多い状態。下痢と違い、便の形はある。  
【一時的な原因】緊張、水分が多いもの(野菜果物等)を食べる、暑いことで水を多く飲む等  
【病理的な原因】換羽、発情、腎・肝疾患等

長く続く場合は病理的な原因の可能性もありますが、正常な状態として多尿・軟便を出す鳥もいます。



#### 下痢

便の形が無く、ドロドロとした状態。  
【原因】胃ガン、感染症、中毒、内臓障害等



#### 血便

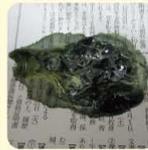
便に血が混じっている状態。  
【原因】総排泄腔内または消化管内からの出血や炎症、腫瘍、金属中毒等



#### 未消化便

種餌の粒が消化されずに排泄された状態。  
【原因】消化器官の障害、感染症(カンジタ、メガバクテリア等)による胃炎や胃ガン等

※着色ペレットや青菜等、色素の濃い食べ物を食べることで出ることもありますが、その場合は形があることがほとんど。



#### 濃緑便、黒色便

タール状で形は無い。餌を食べていないときに出ることがあることから、「絶食便」とも呼ばれます。  
【原因】採食量減少、胃ガン、感染症、肝不全による出血、金属中毒等



#### 尿酸が黄色の状態(左)

【原因】肝機能障害、脂肪肝等

#### 尿酸が緑色の状態(右)

【原因】重度の肝機能障害、溶血性疾患、卵管炎等

左:紫イモにより変色した便。  
右:着色ペレット(緑)により変色した便。



#### 異常な色の便

【原因】着色ペレット、色素の濃い食べ物を食べることで色が変化することがあります。

# 4 発情の何がいけないの？



## ♥ 発情は“自然”の成り行き？

鳥なら発情して卵を産むのは“自然”ではないか、“自然”の成り行きに任せれば良いではないか、と思われる方もいらっしゃるかもしれません。果たして“自然”でしょうか？

鳥をお迎えて多くの飼い主さんを困らせているのが発情にまつわるトラブルです。飼育環境下だと発情してしまう飼い鳥さんが多いです。発情はなぜするのかというと子孫を残すためです。

### ♥♥♥ 野生の鳥は過酷な環境下で子孫を残す

野生の鳥はいつ外敵に襲われるか分からない緊張状態で、その日生きていくための自分の食料や飲み水の確保をするために飛び回る過酷な環境で生活しています。自分のために生きていくだけでも精一杯の状況でも子孫を残さないとはいけません。そのため春が繁殖シーズンとなります。過酷である事には変わり

ませんが、冬と比べたら暖かく、食料も増えて子孫残す余裕が少し生まれ、“今ならなんとか子孫を残せる”という季節です。

### ♥♥♥♥♥♥♥ それでは飼われている鳥は？

飼われている環境はどうでしょうか？飼い鳥は巣にもなる住む場所を与えられ、食料も水も探しに行かなくても常に与えられ、外敵に襲われる心配がなく、寒ければ温めてもらえます。飼われるだけで発情する環境が与えられてしまい、年中発情してしまう飼い鳥も少なくありません。中には毎月産卵してしまう飼い鳥もいます。”自然”ではないですよ？

## ♥ 発情することは、なぜ良くないの？

メスの場合、病気になってしまったり、肥満や生活習慣病になることがあります。オスの場合は感染症にかかったり、精巣の腫瘍になることもあります。

**メス** 発情や産卵をすることで卵が詰まったり、卵を作る、産むために働く卵巣や卵管の病気になってしまったり、ホルモンの影響で肥満や肥満による生活習慣病になることがあります。病気や症状によっては手術が必要になることや、あつという間に命を落としてしまうこともあります。

**オス** 発情行動で、発情対象に吐き戻した食餌を自ら食べるということを繰り返すうちに食餌が悪くなって感染症にかかったり、精巣の腫瘍になることもあります。



このボウシインコのエビ反りのポーズはメスの発情徴候の一つ



このボウシインコの、止まり木に排泄孔を押し当てている仕草はオスの発情徴候の一つ

## ♥ 発情させたくない…。でも、どうすればいいの？

飼い鳥を発情させないためには、発情する条件を取り除く事です。飼われている鳥さんに合った発情抑制方法は、獣医さんにご相談ください。

それでは、飼い鳥を発情させないためにはどうすれば良いでしょうか？それは発情する条件を取り除く事になります。

### ♥♥♥♥♥♥♥ 発情する条件を除くとは

食べ物を与えすぎない、発情させてしまう相手が物であれば、その物を見せないなど方法はいくつかあります。

飼われている鳥さんに合った発情抑制方法を、獣医さんにご相談ください。

ただ、飼われるだけで発情してしまう環境が整っているので、飼

育下で発情を抑制することはとても難しく、苦労されている飼い主さんが多いのが現状です。

### ♥♥♥♥♥ 発情の抑制で防げる病気や症状は多い

それでも発情を抑制することをおすすめするのは、発情を抑制することで予防できる病気や症状がたくさんあるからです。

人と鳥が長く幸せに過ごせますよう、たとえ難しくても、積極的に発情の抑制に取り組んでいただければと思います。

# 仕草でわかる鳥さんからのサイン

SOS  
サイン

鳥類は、非常に感情表現が豊かな生き物です。私たちと言葉が交わせない分、動きや仕草でいろいろな感情や健康状態を表してくれます。日頃からよく観察し、愛鳥さんの小さなサインに気付いてあげましょう！



## 「寒がっている時」

羽を膨らませてふわふわまんまるになります。体温を逃がさないよう動きもなくなりじっとしています。

鳥は体温が下がると体調を崩しやすくなるため、早急にケージ全体(もしくは部屋全体)を暖めてあげましょう。

保温について詳しくは  
→7・8ページへ



## 「暑がっている時」

翼を浮かせて脇を開く姿が特徴です。クチバシを開けて荒い呼吸をしていたら危険です。

早急に部屋全体の室温を下げてあげましょう。エアコンや扇風機が手っ取り早いのですが、風が直接鳥にあたらぬよう注意してください。



## 「嘔吐した時」

頭を激しく振りながら吐くので頭頂部や顔周り、ケージに吐いたものが付着します。

体調が悪い状態ですので病院に連れて行ってください。

※発情の時の吐き戻しは周りに飛び散ることが多く(鏡やおモチャなど)。吐いたものを自分で食べるなどの行動も。



## 通常の様子

羽毛が体に密着していてスマートに見えます。

よく見る  
サイン



## 「背眠」

背中に頭をうずめた状態です。この背眠は寒い時や具合が悪い時に見られます。

リラックスしている時にも時折見られますが、ずっと背眠の状態が続くようでしたら注意しましょう。温度を上げるなどの対処が必要になります。



## 「片足上げ」

上げている方の足に痛みや違和感がある時に見られます。リラックスしている時にも見られる様子です。

少し歩かせてみて、ちょっとでも歩きづらそうだったり足を気にする様子が見られたら動物病院に行きましょう。足を悪くすると日常生活が困難になりますので、早期発見が大切です。

発情  
サイン

発情について詳しくは  
→5ページへ

## 「発情した状態」

- 翼を広げて背中を反らせる
- 床でうづくまる
- 普段とは違う声を出す

このような状態のときに体を触ったりすると、発情をさらに促すことになります。鳥さんから発情の対象を遠ざけましょう。



## 「今以上近づくな!」

- クチバシを開ける
- 翼を広げてのけぞる、もしくは前のめりになる
- 瞳孔が開く

鳥さんとの信頼関係が壊れるかもしれません。鳥さんから離れましょう。

気持  
サイン



## 「リラックス・甘い」

- 羽繕いをする
- 目を閉じて歯ざり
- 全体的にふんわりしている

気持ちが落ち着いている状態です。おそらく居心地がいいのだと思います。あまり構わずそっと見守るか、小さな声で優しく話しかけてあげましょう。仲良くなれるチャンスかもしれません。

## オウムは冠羽と呼ばれる頭部の羽で感情を表します。

オウムとインコの違い冠羽があるのがオウム、ないのがインコと分けられます。



冠羽が「立つ」

興奮! 噛むかも!

冠羽が「立っていない」

リラックス

いかがでしたか?  
特にSOSサインは病気の早期発見にも繋がりますのでとっても大切なポイントです。愛鳥さんの気持ちに寄り添いながら、素敵なバードライフをお過ごしくださいませ♪





鳥の状態にあわせた

# 保温の

うちのコしかた  
どい?

原画:こまつか苗様



知ってた?

ヒトとトリは  
あたたまり方がちがうのです

ヒト...あたたかいものに  
ふれるとあたたまる  
トリ...まわりの(空気)も  
あたためないから

やたんぽ



A

若くて元気



B

まだ元気・元気だけど 高齢



寒がっている

C

寒さでふくらみ 子育て中  
体調悪そう



D

止まり木にとまれない  
動かし回って、安静に  
できない  
しっかりした看護が必要

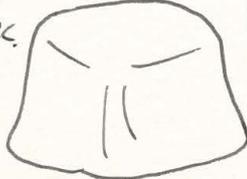


A

若くて元気

※ちょっと寒い夜は  
あたためるのではなく  
冷気を防げば  
じゅうぶん!

おやすみカバー  
+ 毛布



特別な、熱を与える保温は不要。  
あたためすぎは身体を弱くし  
過発情の引き金にもなる。



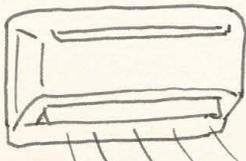
B

まだ元気・元気だけど 高齢

※保温例 寒がっている。

寒さ・温度差に弱い。  
やさしく全体の空気をあたためる。  
(目安は20℃~25℃)

① エアコン



場所  
考えよ!  
ココ  
ココ

温度設定が  
しやすいが、  
乾燥しすぎに  
注意!  
温風が直撃  
しない所に  
ケージを設置。

② オイルヒーター



やさしいあたたかさ。  
安全・乾燥しにくい。  
ただ電気代が  
高い!

トリに  
やさしく  
サインに  
キビシ...

※次ページ(C)の方法を、温度低めの設定で使うのもオススメ。

◎ 寒さでふくらみ、体調悪そう → 子育て中

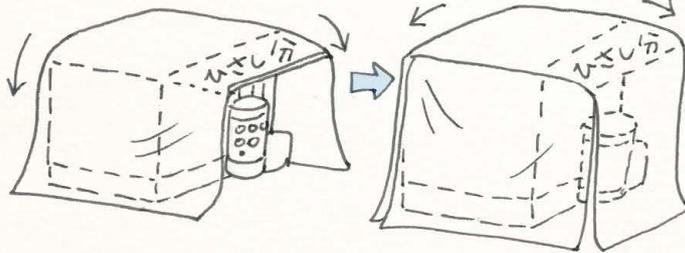
※保温作り、セットの手順

① 紐を結束バンドでとめて「ひさし」をつくる。  
(電球がビニールにぶれて火事にならないように)



② あらかじめ干してビニール臭をとった、食卓用透明ビニールカバーをケージの前中扉にひさしの分だけ加えて切る。すそも少し長めに。

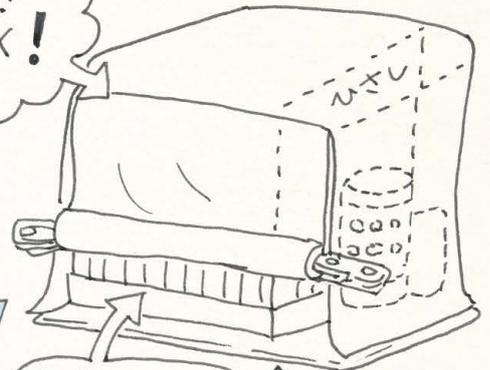
③ 横幅にあわせて、上から十字に重ねる形に切る。すそも少し長めに。



人間が感じるより少し暑いくらいのしっかり保温(約30度)  
ただし、やけど、暑すぎ、酸欠に注意!

温度計とサーモスタートは必須。  
鳥がふくらまず、電球からはなれていれば、保温成功。そばにいるならまだ寒い。

完成!



あきまをあけたり、まきあげたりして酸欠や温度の上がりあきを防ぐ

断熱シートをしく

◎ 止まり木にとまれない、重き回って安着でできない → しっかりした看護が必要

◎の食卓用ビニールカバーを十字にかける

ケージの中、プラケを入れる

低い止まり木(市販品あり)

床にえさをまく

いはい隆器に水をいれる

温度計

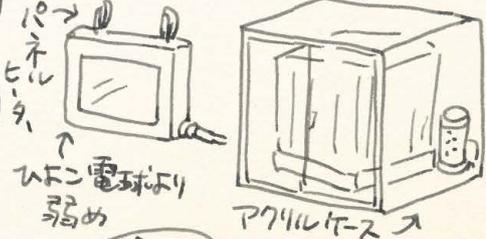


ひさしはいらない

ひよこ電球、サーモスタートをケージの中に入れて

さらに熱効率が良いように、ケージの中に、ひよこ電球をいっしょに入れられるくらいの小さいプラケを用意し、しっかり保温!(約30度) くれぐれもあたためすぎと酸欠に注意しましょう。

※保温アイテムは他にもいろいろ



※これらは一例です。色々な方法がありますので、調べて、愛鳥さんにピッタリのやり方を見つけましょう。

# 看 護 と 向 き 合 う 初 め の 一 歩

## 正しい看護で治療を最大限サポート！

鳥さんが体調不良に陥った時には最大限、元気になるためのサポートをする必要があります。そんな時に慌てないために大事なポイントを集めてみました。

✦ 以下の内容は基本的な事を書いています。動物病院によっても異なりますので、よく先生と相談しながら参考にいただければと思います。

**鉄則**  
まず病院へ  
1  
不安があれば病院へ行こう！  
食欲がない、吐いてしまうなど「あれ？おかしいな」と思ったら  
まずは自己判断をせず病院へ行きましょう。

インターネット上の愛鳥家同士で意見交換をするのもいいですが、実際に鳥を診ていないと判断はできません。

では、病院にかかればもう安心なのかと言うとそれもまた違います。病気を判断し、薬を処方するのは獣医師かもしれませんが、実際に看護をするのは飼い主です。

看護で病気を治すわけではありませんが、

正しい看護は治療を最大限サポートし、  
鳥さんの病気の治りを早めます。

動物病院のないエリアや病院へどうしても行けないときには、さらにその重要度は高まります。

**鉄則**  
健康管理  
3  
体重測定と排泄物チェックで  
危険にいち早く気づこう！  
鳥たちは、どんなに元気に見えても、おしゃべりをしていても  
食欲がなければそれは非常に危険な状態です。  
そして、食欲がなければ異常は便に現れます。  
鳥自身だけでなく、体重や便といった周辺状況に  
目を光らせるのも飼い主様のお仕事です。

鳥たちは、どんなに元気に見えても、おしゃべりをしていても  
食欲がなければそれは非常に危険な状態です。

そして、食欲がなければ異常は便に現れます。

鳥自身だけでなく、体重や便といった周辺状況に  
目を光らせるのも飼い主様のお仕事です。

➡ 体重については3ページ。 ➡ 便については4ページへ

**鉄則**  
食べてもらう  
4  
体重が減った、、、  
食べが悪いそんなときには  
通常、短い期間(1日、2日程度)に体重の10%が減少したら  
危険と言われています。そんなときは、病院へ行くのはもちろんですが  
好きな物を食べさせて24時間明るくし、鳥さんの  
食欲が出るようにサポートをしていきましょう。

通常、短い期間(1日、2日程度)に体重の10%が減少したら  
危険と言われています。そんなときは、病院へ行くのはもちろんですが

好きな物を食べさせて24時間明るくし、鳥さんの  
食欲が出るようにサポートをしていきましょう。

肥満や胃の弱い鳥さんには推奨されない場合がありますので、獣  
医師と相談して実施することをオススメします。

また、様々な鳥専用の餌が売られていますので、元気うちから愛  
鳥さんの好物探しをしておくといいでしょう。

➡ 食事について詳しくは1-3ページへ

獣医師が処方したお薬の効果を最大限に発揮するために必要な  
のは、飼い主の愛情と正しい看護です。鳥さんと獣医師さんと相談し  
ながら、ポイントを押さえたサポートをしてあげてください。

**鉄則**  
保温管理  
2  
保温をしっかりしよう！  
体調不良の際には、多くの鳥が体を膨らませます。  
暖めることで鳥たちの代謝をあげ、投薬中であれば薬の効  
きをよくすることができます。

また、病院に即時いけない時でも

きちんと保温をするだけで  
体調悪化を抑える可能性があります。

そして、保温の際にはサーモスタットなどを使い、24時間一定の温  
度になるように保温を心掛けましょう。

➡ 保温について詳しくは7-8ページへ



## 食欲が出るようにこんなサポートをしましょう

具合が悪いときに、少しでも食べてくれるならチャンスは大事にしたいもの。

**明るく**

### 24時間明るくしておく

小さめの明かりでも良いので、電気をつけておくことで夜中にも起きて、  
食べてくれる確率が上がります。

**餌は床**

### 床に餌をまく。好物を忘れず！

本能的に、床に蒔いてある食べ物を好む性質があります。  
食欲の落ちた時は、止まり木を下げて床に餌をまいておくこともオススメです。

**安静に**

### 上の方に登らせない

ケージの網にしがみつくことで体力も消耗してしまいます。  
安静にしてもらうために、上の方に上れない工夫も同時に行う必要があります。

TSUBASA 上様@ブンチョウハウス(看護ケース一例)



# 防ごう! 身近な危険と鳥さんの迷子

## 愛鳥さんの周りは魅力と危険だらけ!?

鳥は好奇心が旺盛な生き物です。目の前にあるものを魅力的に感じる事が多いので、飼い主は放鳥前に危険と思われるものは片付ける、などといった事故の予防をすることがとても重要です。



「ながら放鳥」は禁物! 目を離しているうち危険なものに近づくと、齧る。うっかり鳥を踏んでしまうといったことにも繋がります。目の届かないところで勝手な行動をさせないために「鳥を常に監視できる余裕がある状態で放鳥」を!

**窓やドア** ⚠️ 窓や扉が閉まっているかを確認し、放鳥中の開け閉めが無いよう注意しましょう! 扉の上に止まったり、部屋から出る飼い主を追いかけ扉に挟まれることも。また、鳥はいざという時、明るい方向へ飛び出す習性があるため、環境に馴染みきれていない鳥は、窓に向かって衝突してしまうことがあります。初めて放鳥する場所では、窓に新聞紙を張ったり、カーテンをかけるなどして衝突を防止しましょう。

**魅力的なもの** ⚠️ 嘴より小さいもの、キラキラした光り物に興味を持ち、口にしてしまいがちです。放鳥前には齧られないよう片付けましょう!



【例】電源コード/ビーズ/人間の薬/化粧品/マニキュア/油性マジック/服のボタン/アクセサリ・ヘアアクセサリ類

**揮発性物質** ⚠️ 鳥は体の構造上、化学的な蒸気や煙など、揮発性物質に非常に敏感です。鳥がいない部屋で使用したとしても体調を崩してしまうことがあります。



【例】タバコ/殺虫剤/ペンキ・シンナー/ヘアスプレー/デオドラント剤/テフロン加工された調理器具から発せられる蒸気(ホットプレート・タコ焼き機等)/オープンレンジのガス/線香・お香・アロマオイル/工事による臭気/新築住宅の臭気

**他のペットや鳥** ⚠️ 犬や猫といった別の種類の生き物と鳥が仲良く暮らしている画像をSNS等で見かけることがありますが、そこには計画性と配慮が重要となります。

犬や猫といった生き物は、本来狩りをする生き物、鳥は捕食対象です。鳥に怪我をさせた場合、大抵は非常に重い怪我となる可能性が高く、時に命に関わります。また、小型の鳥と大型の鳥といった、大きさに差がある種類同士の接触にも注意しておかなければなりません。大型の鳥の嘴は、小型の鳥の足を簡単に切断することができます。違う種類の動物同士の生活がいかに危険性のあるものか、理解しておく必要があります。

**台所周り** ⚠️ 洗剤や油、人間の食べ物といった鳥にとって毒となるものが多くあるほか、加熱された料理や調理器具、沸騰したお湯。また、換気扇に巻き込まれるなどといった事故にも繋がることがあります。危険なものが多く、鳥は台所には近づかせないことが無難です。

**人の食べ物** ⚠️ 人の食べ物は鳥にとって塩分や糖分、脂肪分が多いだけでなく、上手く消化ができず雑菌が繁殖し、そのう炎の原因になることや、最悪死に繋がります。鳥の目の前では食べない、目の届かない場所へ片付けておくことが重要です。

与えてはいけない食物などについて詳しくは → 3ページへ

**隙間** ⚠️ 狭い隙間に入ることが好きな鳥もいます。発情を促したり事故の危険があるため、隙間を塞ぐなど対策が必要です。また、洗濯物の隙間に入ったことに気づかず、踏みつけてしまう事故も。片付けてから放鳥をしましょう。

**観葉植物** ⚠️ 鳥にとって毒性があるものが多く存在。無害な種類でも、殺虫剤や化学肥料によって、思わぬ害となってしまうこともあります。齧ったり、食べてしまうことで中毒とならないためにも、放鳥スペースには置かないことをお勧めします。

**鉛や亜鉛** ⚠️ 身近な用品の中には、鉛や亜鉛が使用されるものも多く、鉛中毒を引き起こす危険性が。鳥製品の金属としてはステンレスが一般的ですが、金属の種類が不明の時は与えないことをお勧めします。【例】メッキされたケージ/鈴(動物用製品以外)/ボルト類/電池/カーテンのオモリ/ペンキやワックス等の塗料/釣り用オモリ/ビニールタイ

## 鳥さんの迷子を防ごう

鳥たちを迷子にさせないことは、飼育の上での最重要事項の一つです。あなたの鳥さんだけが、外に逃げない保証はどこにもありません。

「いつもうちの子は、窓に近づかないのに、、、」、鳥を逃がしてしまった飼い主さまの多くがそう口にします。人がうっかり、窓や扉を開ければ鳥だって何かの拍子に外に出てしまうことがあることを念頭に置き、一瞬の不注意が一生に残る記憶にならないよう、十分ご注意ください!

詳しいアイデアは 回覧板22号のP4をご覧ください。 TSUBASAのホームページから閲覧可能です ▶



# 10 手放す前に考えておくべきこと

## もしも鳥を飼うことが難しくなったら…

誰しも、愛鳥を手放すことなど考えたくはないことだと思います。しかし、今は問題なく暮らしていても、将来、噛みつきや鳴き声といった問題や、飼い主の病気、緊急入院といった事態が起こり得るかもしれません。手放すことを検討されている方も、今はまだそういった悩みがない方も、一読していただけますと幸いです。

鳥を手放す前に、行えることがあります。もしかすると、**問題（鳴き声、噛みつき等）を解決し、手放さなくても良くなる結果を得られるかもしれません。**

飼い主さまの悩みを通して、鳥との生活をより良いものにするお手伝いができれば嬉しい限りです。

## 「バードライフアドバイザー認定講座」を受講する

TSUBASAで開催しているインコ、オウム、フィンチに限定した認定講座です。

知識もさることながら、どうすれば飼い主と愛鳥が幸せに暮らしていけるかを考えていくことを目的としています。

## どうしても手放さなければならない時には

いざ鳥を手放さなければならない時に、鳥を引き取ってもらう方法と、そのメリット、デメリットをご紹介します。

## SNS、里親掲示板等を利用して里親を探す

- メリット**
  - 情報の拡散力がある。
  - 無料で引き取ってもらえることがある。  
※里親掲示板での規約として、無料での譲渡が義務付けられていることが多い。
  - 緊急時でも引き取ってもらえることがある。  
※相手方との相談による。

- デメリット**
  - 里親希望者の選出が難しい。
  - 顔が見えない相手とのやり取りにより、トラブルも多い。  
無料で貰えると安易に里親になろうとする人や、転売・繁殖目的で里親になろうとする人もいます。中には、猛禽類等の他の動物への餌目的で立候補するケースもあります。大切な愛鳥を渡す相手だからこそ、話し合いや選出は慎重に行うべきです。

鳥を飼えなくなるということは、誰しも起こり得ることで、「明日は我が身」かもしれません。  
大きな悩み、問題となる前に遠慮なくご相談くださいませ。

## 各種セミナーへ参加する

TSUBASAで開催しているセミナーや、「愛鳥塾」といった勉強系イベントや、全国で様々な愛鳥家向けのイベントがあります。鳥との関係を良くする手助けとなるかもしれません。

## TSUBASAの電話相談室を利用する

TSUBASAでは、無料の電話飼育相談室を設けています。TSUBASAはレスキュー団体ですが、鳥が手放されないように飼い主さまを導くこともTSUBASAの活動の一つです。お話を伺うことで、飼いきれなくなる、手放される可能性がある問題の解決策を、飼い主さまと一緒に見つけることができるかもしれません。一人で悩む前に、遠慮なくご相談くださいませ。

### TSUBASA鳥さん電話相談室

TEL:048-480-6077(平日13:00~17:00)

※病気の診断はできません。詳しくはホームページをご参照ください。

## 友人に鳥を引き渡す

- メリット**
  - 前もって友人と打ち合わせをしておけば緊急時の連絡や引き取りは安易に行いやすい。
  - 引き取り後の近況報告も受けやすい。
- デメリット**
  - 友人側も鳥に対しての知識や理解があることが前提でなければならない。
  - 友人側が鳥を受け入れる環境でなければならない。

## TSUBASAに依頼して引き取ってもらう

- メリット**
  - 適切な飼育管理や医療が受けられる。
  - 里親を選出する際は審査を設けており、適切な家族にお迎えされる。
- デメリット**
  - 引き取り前の健康診断の義務や書類の作成、受け入れの準備等、引き取りには時間がかかる(最短でも約1ヶ月)。
  - 費用が発生する(約2年間のお世話代)。
  - 引き取りの契約(所有権放棄)により、引き取り後の鳥との面会や近況報告を受けることができない。

認定NPO法人 **TSUBASA** 『人・鳥・社会の幸せのために』

www.tsubasa.ne.jp 埼玉県新座市中野2-2-22

Phone: 048-480-6077 e-mail: tsubasa0615@gmail.com